

(オンライン会議のため、写真なし)



令和4年7月22日(金)に、「鳥獣被害対策講座：初級編第1回・知識編」を開催しました。オンラインで講義を行い、午前の部では、イノシシ、中型獣(ハクビシン等)、鳥類など各獣類の特徴や生態に関する基礎的な知識について学びました。午後の部では午前学んだ内容をもとに、鳥獣被害対策で重要な「被害防除」、「環境整備」、「捕獲」の3つの柱や各鳥獣に対する実践的な対策技術を学びました。

講座名 野生鳥獣による農作物被害対策研修「初級編第1回・鳥獣対策講座：知識編」
開催日 令和4年7月22日(金) 午前9時から午後4時まで
場 所 オンライン(Webex meetings)
出席者 45名

受講生の声(抜粋)

- ・オンライン形式の講習でしたが、内容も分かりやすく資料も細かく整理されて、とても勉強になりました。特に、農作物が被害に遭った状況や、鳥獣の特徴なども詳細が、しっかりと書かれていたのでこれから大いに役立てていきたいと思えます。
- ・説明に動画や写真が多かったのでとてもイメージしやすく、理解が深まりました。正しい知識を身につけて、早め早めの対応をすることが大切だと強く感じました。

講師のコメント

鳥獣被害を防ぐためには、各獣種の特徴や生態を理解することが大切となる。そのうえで、侵入防止柵等により農作物を守る「被害防除」と、被害を及ぼす個体を減らす「捕獲」、鳥獣を近づけない「環境整備」を総合的に組み合わせて対策することを意識して欲しい。